

展示名	企画展「隣組日記と戦時中の暮らし」
会期	2021年7月6日(火)～8月31日(火)
内容	<p>上鷲宮に住んでいた漫画家中島菊夫が、隣組組長を務めた際に描いた挿絵入りの「となり組日記」は、当時の暮らしを知ることができる貴重な史料として残されています。</p> <p>この日記を中心に、福島県に疎開した鷲宮国民学校の児童が描いた絵や絵日記などから、戦時中の人々の暮らしを振り返りました。</p>




中島菊夫《となり組日記》



中島菊夫《慰問新聞》



疎開児童の絵



慰問袋

中島菊夫